

項目	書名 新編 新しい科学 <span style="float: right;">2 東 書</span>
教育基本法、 学校教育法の下、 中学校学習指導要領の 教科の目標と のかかわり	<p>○単元の導入で、身近な事象を見開き2ページの写真で示すとともに、章の導入でも大きな写真を示し、生徒の学習意欲を喚起するようになっている。</p> <p>○実験の目的を明確に示し、仮説を立てたり、観察・実験の意味を確認する質問に沿って、生徒が事実や根拠に基づいて考察するようになっている。</p> <p>○科学と実社会・実生活との関連を意識した写真や題材を多く取り上げるとともに、單元ごとの特集で日本の科学技術を紹介するなど、科学の有用性が感じられるようになっている。</p>
特色 内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○「これまでに学んだこと」で既習事項を示し、「まとめ」「章末」で復習し、單元ごとの「学習内容の整理」で重要語句を、「確かめと応用」で繰り返し復習させるようになっている。「基礎操作」に観察・実験の手順や操作上の注意事項が詳細に記述され、基礎技能の習得について配慮されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験では、結果を分析、解釈するために、「結果の見方」「考察のポイント」によって結果、考察の視点を示し、事実を認識させ、根拠に基づいて考えさせるように配慮されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○目的意識を持って主体的に観察・実験を行うために、観察・実験の冒頭に「観察(実験)の目的」の欄を設け、観察・実験の目的を明確化している。また、観察・実験の手順やまとまりごとに見出しやマークをつけ、確認すべき観点や注意すべきポイント、実験操作のコツを示している。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b></p> <p>○学習内容の導入部に、身のまわりの生物や日常的に目にする現象の観察を多く取り上げている。コラム「科学でGO!」や特集「ニッポンの科学」などで日常生活や社会との関連を意識させ、科学の意義や有効性に気づかせるようになっている。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○「予想しよう」「調べ方を考えよう」「考察しよう」などが配置されていて、科学的な思考力・表現力が育成できるように配慮されている。また、「学びを活かして考えよう」「学んだことをつなげよう」「どこでも科学」「科学でGO!」などが配置されていて、内容の理解がより深められるようになっている。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験ごとに、注意すべき観点の類型をアイコン化してわかりやすく示してある。実験中に地震が起きた際の行動についての記述がしてあり、不測の事態の対応について配慮されている。「科学でGO!」に、環境保全に関する内容が紹介されている。</p>
資 料	<p>○本文と関係のある写真やイラスト・読み物が見やすい位置に大きく描かれていて、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫が見られる。</p> <p>○日本が世界に誇る科学技術等を紹介し、生徒の興味・関心を高める工夫をしている。</p>
表記・表現	<p>○重要語句や式には、太字のゴシック体を用いている。重要語句にはふりがなを付け、式は単位を付けて枠で囲んで表記している。</p> <p>○1学年の本文の文字サイズが2・3学年のものより大きい。2・3学年のものでも、文字が大きめである。文章自体も平易に書かれていて読みやすい。</p>
総 括	<p>○各学年とも、巻頭に科学的に探究する方法やその過程が示されており、中学校での理科の学習の進め方がわかるようになっている。</p> <p>○学年別の3分冊となっており、それぞれが各単元の指導時期や内容の関連性を踏まえた単元配列となっている。</p>

項目	書名 新版 理科の世界 <span style="float: right;">4 大日本</span>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○身近な自然や日常生活の中の興味ある事象を導入として取り上げ、生徒の学習意欲を喚起するようになっている。</p> <p>○観察・実験では、観察・実験のポイントを確認したり結果を予想する場面を設定して目的意識が明確となるような構成とし、科学的な見方や思考力・表現力を身につけさせるようになっている。</p> <p>○「くらしの中の理科」や「トピック」等の資料で科学と日常生活や社会とかかわる内容を取り上げ、科学と生活との関連について考えさせるようになっている。</p>
特色 内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○「これまでに学習したこと」「思い出そう」で既習事項を示し、「章末問題」や単元の「まとめ」で重要語句を復習し、「単元末問題」で繰り返し復習させるようになっている。「基本操作」で観察・実験器具の操作技能を習得し、生徒が主体的に学習を進められるように配慮されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験で、「結果の整理」「結果から考えてみよう」で考察の視点を示している。グラフの書き方や読みとり方などの具体例を多くし、科学的な思考力・判断力の育成を図っている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○各章は、観察、実験、基本操作などを通して探求の方法や基本的な知識を習得できるようにし、「トピック」「くらしの中の理科」「科学史」などの資料を充実させることで興味・関心を高めながら、生徒が主体的に学んでいけるような構成になっている。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b></p> <p>○単元や章の導入で、身近な自然事象に目を向けさせたり、日常生活と関連づけたりして学習の意欲付けを図っている。「やってみよう」で身近な事象と関連する観察・実験を取り上げたり、「くらしの中の理科」で学習内容が日常生活や社会で活用されている話題を取り上げ、科学の意義や有用性を意識させるようになっている。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○「結果の整理」「結果から考えよう」などで結果を分析して解釈する場面が設定され、「話し合ってみよう」では科学的な表現力を養うように配慮されている。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験では注意マークと留意事項が示してあり、事故や危険なことは安全マークで示してある。「トピック」等の中に、環境保全に関する内容が紹介されている。</p>
資 料	<p>○本文と関係のある写真やイラスト・読み物が見やすい位置に掲載され、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫をしている。</p> <p>○2学年、3学年とも、巻末に周期表を載せていて、周期表をすぐに見つけられる。</p>
表記・表現	<p>○重要語句や式には、太字のゴシック体を用いている。重要語句にはふりがなを付け、式は単位を付けて枠で囲んで表記している。</p> <p>○各学年の文字サイズが統一されている。文章自体も平易に書かれていて読みやすい。</p>
総 括	<p>○各学年とも、巻頭に「教科書の使い方」が示されており、中学校での理科の学習の進め方がわかるようになっている。</p> <p>○学年別の3分冊とし、それぞれ観察・実験が行いやすい時期や生徒の発達段階を踏まえた単元配列になっている。</p>

書名		中学校科学	11 学 図
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○単元の導入時に、日常的な場面の写真やイラストを用いて学習内容と関連ある課題を提示し、生徒の学習意欲を喚起するようになっている。</p> <p>○課題解決の方法や結果の予想等を話し合う「話し合ってみよう」が適宜設定されており、目的意識をもって主体的・協働的に学習に取り組むようになっている。</p> <p>○「日常とのつながり」や「科学の窓」等の資料で学習内容と関連する日常場面や話題を紹介し、理科を学ぶ意義や有用性を感じられるようになっている。</p>		
特 色	内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○「これまでに学んできたこと」で既習事項を示し、「問い」「学習の確認」「学習のまとめ」で重要語句や基本用語を復習し、「単元末問題」で繰り返し復習させるようになっている。「基本操作」を設け、観察・実験で使用される器具などについての基礎的な技能を習得させるようになっている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○本文中の「話し合ってみよう」で、自ら問題解決をする態度や、科学的なものの見方や考え方を育成するようになっている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○各学年の巻頭に「観察・実験の進め方」があり、探究の方法がわかりやすく示されている。また、観察・実験をうまく行うコツなどを「ポイント」として示し、「Let's Try!」や「チャレンジ」で生徒に主体的に学習させるための工夫をしている。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b></p> <p>○本文中に、学習内容と日常との関連を示す「日常とのつながり」マークをつけたコラムが設けられている。単元末には、学習内容と関連した職業と働く人を紹介し、実社会・実生活との関連を図っている。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○「問い」「話し合ってみよう」「単元末問題」で、特に活用力や表現力を意識させたいものには、活用マークや表現マークが示されている。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b></p> <p>○危険防止のため、必要箇所には目立つように「注意」マークを表示し、太字で簡潔に注意事項が示されている。「科学の窓」で、環境保全に関する内容を紹介している。</p>	
	資 料	<p>○本文と関係のある写真やイラスト・読み物が見やすい位置に大きく掲載され、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫が見られる。</p> <p>○単元のはじめに写真やイラストが多く使われ、学習の流れが見通せるようになっている。</p>	
	表記・表現	<p>○重要語句や式には、太字のゴシック体を用いている。重要語句にはふりがなを付け、式は単位を付けて枠で囲んで表記している。</p> <p>○各学年の文字サイズはほぼ同じであるが、どれも大きめである。文章は平易に書かれていて、読みやすい。</p>	
総 括	<p>○各学年とも、巻頭に「観察・実験の進め方」と「教科書の使い方」が示されており、生徒が目的意識をもって観察・実験に取り組めるようになっている。</p> <p>○学年別の3分冊になっており、それぞれの単元の順序性は示さず、前半は1分野、後半は2分野の単元配列になっている。</p>		

書名 項目	自然の探究 中学校理科 <span style="float: right;">17 教 出</span>	
教育基本法、 学校教育法の下、 中学校学習指導要領の 教科の目標と のかかわり	<p>○単元の導入で、身近な事象や不思議な現象を見開きの写真で示すとともに、章の導入でも大きな写真を示し章にかかわる疑問を提示することにより、生徒の学習意欲を喚起するようになっている。</p> <p>○観察・実験の前に課題を提示し、内容に応じて「話し合おう」「考えよう」を設け、目的意識が明確になるようにし、科学的な思考力や表現力が身につくようになっている。</p> <p>○科学の話題を紹介する「ハローサイエンス」を随所に掲載し、科学と実生活との関連や環境について取り上げ、理科を学ぶ意義や有用性を感じられるようになっている。</p>	
特 色	内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b> ○「思い出そう」で既習事項を示し、章の「要点チェック」、単元の「要点と重要語句の整理」「基礎・基本問題」で復習し、「活用・応用問題」で繰り返し復習させるようになっている。「基礎技能」で、観察・実験での基礎的な技能習得の工夫を図っている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b> ○「考えよう」「話し合おう」で繰り返し思考や表現をさせる場面を設定し、科学的な見方や考え方を身につけるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b> ○観察・実験の前に「課題」を提示し、内容に応じて「話し合おう」「考えよう」を設け、仮説の設定、実験計画の立案などを円滑に行えるようにしている。また、「準備」「方法」「結果」「考察」と項目を細かく示し、生徒が主体的に観察・実験に取り組めるよう流れ図（フローチャート）を採用している。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b> ○章の導入では、日常生活で目にすることができる事物・現象を多く取り上げている。「ハローサイエンス」「ミニコラム」では、日常生活に密着した話題や社会と関連する事象を取り上げ、科学の意義や有用性を意識させるようにしている。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b> ○「導入」→「課題把握」→「予測」→「観察・実験」→「結果の分析」→「規則性の発見」→「レポート作成」→「発表」という流れを重視し、科学的な見方や考え方が身につくようになっている。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b> ○観察・実験で、絶対にしてはいけないことには「禁止」の、特に注意することには「注意」のマークがついていて、朱書きで具体的な指示を示してある。「ハローサイエンス」の中で、環境保全に関する内容を紹介している。</p>
色	資 料	<p>○本文と関係のある写真やイラスト・読み物が見やすい位置に大きく掲載され、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫が見られる。</p> <p>○単元と関連した日本の文化や伝統についての話題を掲載し、生徒の興味・関心を高める工夫をしている。</p>
	表 記・表 現	<p>○重要語句や式には、太字のゴシック体を用いている。重要語句は赤色にふりがなが付けられ、式は単位を付けて枠で囲んで表記されている。</p> <p>○各学年とも文字は小さめで、その分情報量が多い。文章は平易に書かれていて、読みやすい。</p>
総 括	<p>○第1学年の巻頭に「理科学習の進め方」が示されており、中学校での理科の学習の進め方がわかるようになっている。</p> <p>○学年別の3分冊とし、それぞれ前半は1分野（化学、物理の順）、後半は2分野（生物、地学の順）の単元配列になっている。</p>	

書名 項目		未来へ広がるサイエンス	61 啓林館
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○単元や章の導入では、学習内容に関連する事象を見開き2ページの写真で示し、生徒の学習意欲を喚起するようになっている。</p> <p>○観察・実験の目的を明確に示し、探究の過程を重視して観察・実験を行うことにより目的意識を明確にし、科学的な見方や思考力や表現力が身につくようになっている。</p> <p>○学習内容に関連したコラムを紹介し、科学の有用性を感じるようにするとともに、別冊の「マイノート」を活用し、科学的な見方や考え方の基礎を養うようになっている。</p>	
特 色	内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○「振り返り」で既習事項の確認をした上で、本冊の「学習のまとめ」やマイノートの「基本のチェック」「力だめし」で復習するようになっている。「実験のスキル」で、観察・実験の基礎的な技能を習得させるようになっている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○各単元は、学習課題を軸とした問題解決の流れを繰り返し、主体的で探究的な学習サイクルによって、科学的な思考力が身につくようにされている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験には「目的」をのせ、解決すべき課題を示し、「方法」をステップ分けすることにより、見通しを持って取り組むことができるよう工夫されている。本冊の「話し合ってみよう」やマイノートの「サイエンスアプローチ」で、生徒同士が教え合い、学び合いによる主体的な協働学習ができるようにしている。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b></p> <p>○学習内容と関連したコラム「部活ラボ」「はたらく人に聞いてみよう」「科学偉人伝」「先人の知恵袋」などを紹介し、多様な場面で学習内容と社会のつながりが実感できるようになっている。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○読んで理解する本冊と、書いて理解するマイノートがあり、科学的な見方や考え方を多様な方法で養うことができるようになっている。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験で注意すべきところには、注意マークと朱書きで示してある。本冊の巻末に「地球・環境資料」が掲載されており、環境保全に目を向けさせるように工夫してある。</p>	
	資 料	<p>○日常生活や部活動などとの関連を紹介した多彩な写真やイラスト・読み物が掲載され、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫が見られる。</p> <p>○現場で働く人々を紹介した「はたらく人に聞いてみよう」などを掲載し、生徒の興味・関心を高める工夫をしている。</p>	
	表 記・ 表 現	<p>○重要語句や式には、太字のゴシック体を用いている。重要語句にはふりがなを付け、式は単位を付けて枠で囲んで表記している。1学年の本文の文字サイズが2・3学年のものより大きい。</p> <p>○単元ごとにある「学習のまとめ」では、重要語句が青色の文字で書かれていて、付属の青色シートで覆うと文字が見えなくなり、用語を隠して覚えられるようになっている。</p>	
	総 括	<p>○各学年とも、巻頭の「この教科書の使い方」で課題解決の流れが示されており、中学校での理科の学習の進め方がわかるようになっている。</p> <p>○学年別の3分冊とし、それぞれ前半は2分野の「生命・地球編」を、後半は1分野の「物質・エネルギー編」を基本とした単元配列になっている。本冊と別冊「マイノート」から構成されている。</p>	